

全高長 第61号
平成21年10月27日

社団法人 日本経済団体連合会
会長 御手洗 富士夫 様

全国高等学校長協会
会長 戸谷 賢司

新規高等学校卒業者の求人について（お願い）

昨年9月米国より発生した世界規模の経済危機により、平成21年3月末高等学校卒業予定者について全国で386名の内定取り消しという事態が発生しました。しかしながら関係団体の様々なご支援等により、就職未決定者は30名程度にまで減少したとの報告を受けております。

一方、その後も景気の回復は順調とはいえず、平成22年度3月末高等学校新規卒業者の就職活動においては、10月23日現在、求人数では半減、就職内定率でも5割を割る状況であるとの報告が多く地域から寄せられております。

いうまでもなく、就職を希望する生徒にとって就職先を決めるということは、高校生活における最も重要ともいえる目標であり、これからの人生を大きく左右する真剣でありかつ希望あふれる行為であります。それだけに、求人がないということは、その希望を実現する機会を最初から失うことであり、生徒にとって高校生活を送る意義を失いかねないことであります。また、成人した大学生と精神的にいまだ未熟な高校生とでは衝撃を受け止める力が異なることから、このままの状況が継続すると、長い目を見た場合、若者の社会貢献にも少なからぬ影響を与えることが考えられます。

昨今の金融・経済情勢の悪化は承知しておりますが、以上のことをご理解いただき、将来の日本を背負っていく若者たちのために、貴団体所属の事業者の方々おかれましては、生徒に対する求人の確保について特段のご配慮をいただき、適切な対応をとっていただきますようお願いいたします。